

EVバス、トラックの普及拡大を可能とする大型車用EVシステム技術開発（H28年度～H30年度）

熊本大学、(株)イズミ車体製作所、オートティブエンジニアプライ(株)、(株)ピュース、九州産交バス(株)、熊本県

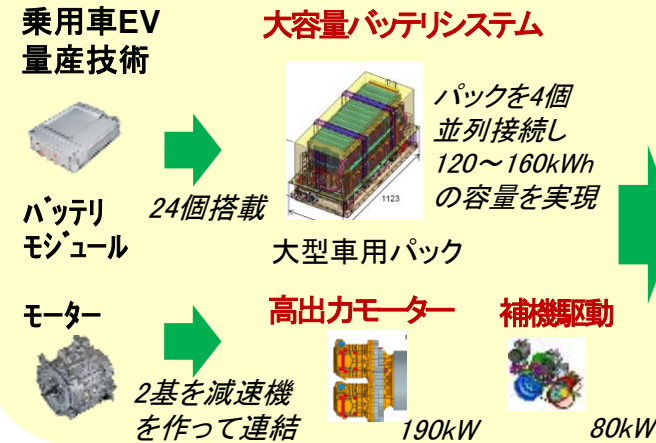
路線バスやトラックに環境に優しいクルマを導入する為、乗用車の電気自動車(EV)技術を活用した低価格の大型車用EVシステムを実用化し、EVバス、トラックの普及拡大を進めるプロジェクトです

■ バス、トラックの課題

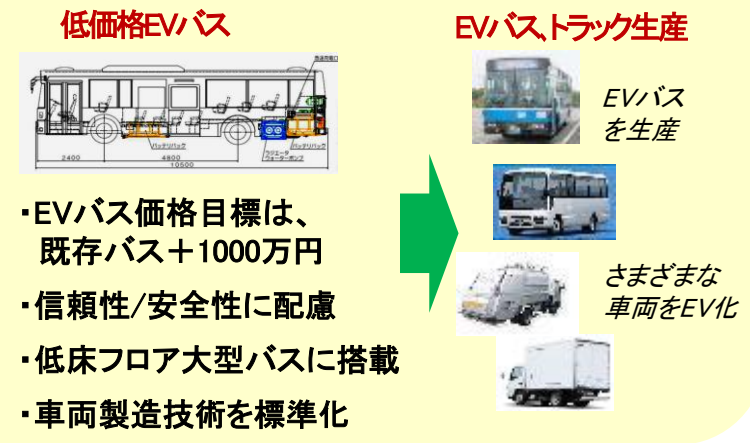
- 1.環境対応車両の導入促進が急務 (CO2排出減、排気ゼロ化)
- 2.EVバス、トラックの普及遅れ(高価)
- 3.路線バス会社では燃費改善、運転手確保が課題

■ 技術開発の内容

★乗用車EV技術を活用し低価格EVバスを実現



★全国の車両工場生産



■ 実証試験 よかエコバス号

運行路線：九州産交バスの熊本市と益城町を走る路線(1日117km) (H30年2月～H31年3月)



- ・低床フロア大型バス
- ・乗車定員61名
- ・バッテリー容量90kWh
- ・モータ出力190kW
- ・50kW急速充電対応

愛称：よかエコバス

■ 特長

- ★ CO2排出削減
- ★ 排気ガスゼロ
 - ★ 振動/騒音が小さい
 - ★ 発進/加速が滑らか
- ★ 運転操作が簡単
 - ★ 1日数回の急速充電

■ 期待される効果

- ★ 地方中核都市で実証 (EVバス導入モデルケース)
- ★ 低価格EVバス、トラック普及
- ★ 地域産業振興
- ★ CO2排出の大幅削減
- ★ 排気ゼロの公共交通実現